

業 務 状 況 報 告 書

(年 4 月 1 日 ~ 年 3 月 3 1 日)

報告書は「採取場ごと」
に一部ずつ作成してください。

年 月 日

経済産業大臣 殿

報告対象期間（年）を記載して下さい。
年度途中で、廃止したときは、3月31
日を廃止日に修正してください。

住 所
氏名又は名称及び
法人にあつては
その代表者の氏名

登録年月日及び登録番号

該当する採取の場所、
山・陸・海・その他（洗浄のみ）のいずれ
かひとつに○をつけて下さい。
※下線の場合は、国土交通省への報告となり
ます。

砂利の採取計画等に関する規則第9条の規定により、次のとおり報告します。

1. 砂利採取場の 場所及び面積	都 道 府	市 郡 村	番地	採取の 山 陸 海 その他 (洗浄のみ)	※ 河川
砂利採取法以外に認可 を受けている場合は記入 して下さい。	認可を受けた採取場の 面積です。			認可の有効年月日を 記入下さい。	認可を受けた数量 を記入下さい。
2. 河川法等の法令の 規定に基づく認可	砂利の採取又は払い下げの根拠となる 法令の名称			認可を受けた年月日を記 入下さい。	認可を受けた 砂利の数量
重機の名称を記入して下さい。 二種類以上ある場合は、以下の 余白に、機械の名称と台数を記 入して下さい。	採取 船	隻	採取量	砂 利	m ³
採取用機械が複数ある場 合は、このスペースに機 械名と数を記載してくだ さい。 【例】 パワーショベル 2台 ドーザーショベル 1台	採取用機械 ()	台	同一の重機を複数の採取 場で、兼用している 場合、重複（ダブルカ ウント）を避けるた め、いずれか一つの採 取場の報告書にまと めて記入して下さい。 この場合他の報告書の当 該欄には斜線を引い て下さい。	砂	m ³
	砕石機	台		玉	m ³
	陸上水洗選別機	基		玉	m ³
	汚濁水処理施設	基		碎	m ³
	砂利の採取場 において砂利の採 取に従事する者	人		合	m ³
3. 採取場の 位置図	同一の者が複数の採取場で、兼務して いる場合、重複（ダブルカウント）を 避けるため、いずれか一つの採取場の 報告書にまとめて記入して下さい。こ の場合他の報告書の当該欄には斜線を 引いて下さい。				
6. 砂利の採取に 当たって障害と なった事項	砂利採取業者が、採取した砂利を自社 の製品の原料として使用（加工） 、又は自社が実施する建設工事に消費 する場合などです。				
7. 採取をした砂 利の都道府県別 の販売先及びそ の数量	建設業者	砂利販売業者	生コンクリー ト業者	自家消費	その他 ()
都道府県別	都道府 県内	m ³	m ³	m ³	m ³
都道府 県内	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
〃	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
〃	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
〃	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
〃	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
その他	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 欄については、3月31日現在の状況を記載すること。同一の設備を二以上の採取場で使用した場合は、重複して計上しないこと。
- 3 1欄、2欄及び4欄から7欄までは、提出する年の前年の4月1日から提出する年の3月31日までの1年間について記載すること。
- 4 ※印の箇所は、該当する項目に○印を付けること。
- 5 2欄の「砂利の採取又は払い下げの根拠となる法令の名称」については、例えば「河川法」、「農地法」のように記載することとし、「許可を受けた砂利の数量」については、全体の掘さく許可量を記載すること。
- 6 6欄については、必要に応じ、資料を別紙として添付すること。
- 7 7欄の「販売先」の「その他（ ）」の（ ）書きについては、洗浄場、コンクリート二次製品業者、官公庁等を記載すること。